（別紙２－４）

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」　　総括表

法人名	社会福祉法人　松涛会	代表者	斎藤　正樹
事業所名	小規模多機能　ﾌﾛｲﾃﾞ金比羅	管理者	中堀　詔子

法人・事業所の特徴	・建物が複合施設になっていて他部署との協力体制ができている。 ・山の田内科が協力病院として緊急時等の受診などの連携ができている。 ・施設内は家庭の延長線としての雰囲気がそのまま活かされるようにし,不安や心配事を訴えてくる利用者様には、個別ケアを行っている。 ・可能な限り利用者本位の柔軟な対応をし、緊急な泊りなど家族の要望の受け入れをしている。

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	2人	人	1人	1人	人	3人	人	9人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A．事業所自己評価の確認	毎日のミーティングや職員会議を活用したり、伝達簿を確実に見るようにして利用者の情報交換をしていく。どの職員も家族との信頼関係を早く築けるよう、それによって情報共有をし易くする。	・迎え時、家族から得た情報などは、昼のミーティングで情報共有し伝達簿に記入するようにしている。得た情報などは、日報や介護記録に記載し情報交換ができるようにしている。 ・面会に来た家族や送迎時の家族の対応について、どの職員も対応ができるようにしているため、職員との信頼関係も少しずつだが築けてきている。	・意見箱の設置に気付いていない家族がいるのではないか？ ・家族へのアンケート調査を実施してみてはどうか？	・家族への満足度アンケートの実施を行って行く。 ・意見箱の設置場所などを通信を通して知らせていき、活用できるようにしていく。
B．事業所のしつらえ・環境	玄関前の駐車場は立地条件もあり難しい面もあるが、スムーズに止められるようにしていきたい。ロビー階からの出入りは、本来、サービス付き高齢者住宅に住まいの方達の入り口となっている為、どこまでできるか相談をしていきたい。	・玄関前の駐車場は狭い為、家族が止めにくい場合は、職員が誘導している。 ・ロビー階からの出入りは、施設長と相談し出入りができるようにしている。	・ﾌﾛｲﾃﾞ金比羅の複合施設を活用して利用者同士の関わり合い方を工夫してみてはどうか？ ・小規模の利用者同士の関わり合い方の工夫をしてみてはどうか？	・ﾌﾛｲﾃﾞ金比羅内の行事をする際、他事業所の人達と交流し易くするように配列に工夫をしていく。 ・小規模内は、1か月ごとの席替えを実施し多くの方との交流を図る。
C．事業所と地域のかかわり	地域の清掃活動の継続や複合施設を活かした施設内行事を通して、自治会等の住民との関わりを増やし、顔の見える関係作りを行う。	・地域の清掃活動を継続していく中で、近所の方から自然にねぎらいの言葉かけをいただくことができている。	・地域の清掃活動の継続や回覧板を活用し地域の方達が参加しやすいイベントなどを考えていったらどうか？	・西部公民館のイベントへの参加や小学校の訪問活動を築いていく。 ・ﾌﾛｲﾃﾞ金比羅で行うイベントへの参加を回覧板を通して呼びかけ、交流を深めていく。
D．地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	・清掃活動の継続による住民へのアピール。施設内行事への住民参加の声掛けを行う。先々は利用者個々の特性が活かせる行事の企画をしていきたい。	・施設で実施した秋祭りには、回覧板を活用し参加を呼び掛けることで参加してもらうことができている。 ・地域密着委員会を立ち上げ、西部公民館へ作品の展示をし地域に向けた活動が少しずつだができている。	・地域の中で開催できるようなイベントを考えてみてはどうか？	・金比羅神社を活用できるイベント企画や町づくり協議会とも協力しながら行える地域活動を検討、働き掛けを行ていく。
E．運営推進会議を活かした取組み	・運営推進会議の地域の方の出席者が増やせるようにしていきたい。 ・運営推進会議内容を利用者家族へ知らせるようにしていく。	・運営推進会議の出席には、働いている人が多いために難しい面もあるが、これからも参加の呼びかけをしていきたい。 ・運営推進会議の内容は、毎月の請求書発行の際に必要な内容をお手紙として知らせている。	・自治会長の交代もあるため、改めて運営推進会議の参加メンバーの構成を相談をしていったらどうか？	・新しい自治会長へ相談し地域の方が運営推進会議に関わってもらえるようにしていく。
F．事業所の防災・災害対策	・災害時での避難場所としての提供していきたい。 ・事業所から徘徊時の連絡体制や避難訓練時の協力体制を地域住民へお願いをしていきたい。 ・災害時での避難経路を解りやすく掲示し、避難の際の安全の確保を訓練時に確認する。	・下関市より災害時の避難場所として指定されている。 ・徘徊時の連絡体制や避難訓練時の協力は、回覧板を活用し地域住民へ参加のお願いをしてる。 ・避難経路を解りやすくし、各事業所ごとへ冊子として配布している。	・色々な災害を想定しての避難訓練をし地域の方達も参加できるようにしていってはどうか？ ・災害時の避難場所として指定されているが、地域の方達と避難経路などの連携が必要になってくるのではないか？	・回覧板を通して避難訓練への見学をしてもらえるようにしていく。 ・想定の災害に合わせての避難訓練や地域の方達を交えた避難経路（ﾌﾛｲﾃﾞ金比羅まで）の作成をしていく。